

第2回田原市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨

日時：2007年12月17日（月）14：00～

場所：田原市役所 南庁舎 4F 政策会議室

会議次第

- 1.都市整備部長あいさつ
- 2.委員長あいさつ
- 3.検討事項
  - (1) 第1回策定委員会の意見に対する対応について
  - (2) 都市づくりの理念と目標について
  - (3) 将来の都市構造について
- 4.意見交換
- 5.その他

議事要旨

- |        |                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局    | (開会の宣言)<br>(資料確認)                                                                                     |
| 都市整備部長 | (挨拶)                                                                                                  |
| 委員長挨拶  | (挨拶)                                                                                                  |
| 事務局    | (議事の進行を委員長に依頼)                                                                                        |
| 委員長    | 次第に基づいて「(1) 第1回策定委員会の意見に対する対応について」の説明をお願いします。<br>(資料説明を事務局に依頼)                                        |
| 事務局    | (資料1、2、3の説明)                                                                                          |
| 委員長    | ご質問、ご意見はございますか。                                                                                       |
| 委員     | 渥美半島では、菜の花ロマン街道の指定を受け、地元でも自主的な取り組みが進められています。                                                          |
| 委員     | 渥美線が豊橋駅に乗り入れるのはいつごろですか。                                                                               |
| 委員長    | もう数年、来年にも実現するかもしれません。                                                                                 |
| 委員     | 渥美線の乗り入れがどの程度影響するのかわかりませんが、地域のポテンシャルが上がるため、もう少し積極的に位置づけてはどうでしょうか。住宅地開発などもあると思いますし、観光面でも検討の必要があると思います。 |
| 委員長    | なかなか難しいのかもしれませんが、検討していただいたほうがよいと思います。                                                                 |
| 委員     | サイン、誘導など含めて渥美線の利用を促進するような取り組みが可能で                                                                     |

あれば協議していったらどうかと思います。

委員長

J R、豊橋鉄道、豊橋市の豊橋駅についての計画は、すでに確定しているようです。

影響がないはずはないので、うまく捉えていく必要はあると思います。

次に、「(2) 都市づくりの理念と目標について」と「(3) 将来の都市構造について」について資料の説明をお願いします。

事務局

(資料4の説明)

委員

配布資料4の7ページの図ですが、問題点として3つの市街地への商業の集積が進んでいないこと、途中の集落がなくなっており農山村切捨てではないかという批判の対象となってしまうことの2つあると思います。

誤解される可能性があると思います。

郊外居住についても、今後どうして行くのかということを実際に考えないといけないと思います。

自然や農地を活かすというような方向も図の中に含めたほうがよいと思います。

コンパクトシティには、従来の車を使って郊外に住むという暮らし方を否定する面があり、市民にきちんと理解してもらうことを考えないといけないと思います。

委員長

図1については、市街地から外に出て行くのを抑制するという事は大切だと思いますが、外にあるものを内側に入れていくというのは、無理ではないかと思います。

委員

市街地の魅力を高めていけば結果的に市街地居住が選択されるというようになればいいのではないかと思います。一方では、農村での暮らしを考えると、最小の単位や規模ということも考えないといけないのではないかと思います。

市街化区域の中に住宅と商業施設が混在しているという点ですが、混在がいけないとも言いきれないと思います。

幹線道路についてですが、三河湾沿いに幹線道路が書いてありますがつながっていないのはどうしてですか。

委員長

都市構造図の見方について、事務局、お願いします。

事務局

太平洋側が伊勢湾口道路で国家プロジェクト規模の道路です。

三河湾側が渥美半島縦貫道路で、現在整備が進められているところですが、その先については野田地域を経て旧赤羽根町方面へ向かう計画になっています。しかし、ルートなどについては定まっていない状態です。

委員長

つながっていないのは、ルートが確定していないということですね。

湾口道路についてはどうですか。

事務局

ルート自体は決まっていない状態です。

北側の道路についても地元合意の問題などがあり、書けないという状態

です。

委員

どういう計画に基づいているのですか。

都市計画マスタープランに載せるべきものでしょうか。熟度はいかがでしょう。

事務局

旧田原町の都市計画マスタープランにも記載してありましたし、地域への影響も大きいのでぜひ記載したいと考えています。

委員

内容は理解できます。福江については、課題が多すぎて、しかも拡散しつつある状況です。

沿道のにぎわいはありますが、下の商店街は空洞化しており、コンパクトシティの実現は難しいと思うこともあります。

人口についても、農村では減少していますし、子どもの数も減っています。

全体としてはいろいろな点が網羅されていますが、田原市は周辺部の環境がよいので、里山の活動などを続けていますが、地域づくり、人づくりが大切だと思います。

次の委員会で具体的な方針を検討するときに申し上げたいと思います。

委員長

商業に関するご意見ですが、なかなか計画的に誘導するのは難しいのが実情だと思います。公共で担保するのも難しく、地元の人が作り出していくことが大切ではないかと思います。

委員

商業は自然発生、自然消滅でどんどん変わっていきます。田原市街地でも今年になって3軒やめました。大型店、コンビニの進出が影響しています。

まちなかではサービス産業中心になるのではないかと思います。

商店街ができるのが理想ですが、現実には難しいと思います。

最近、商店と住居とが一緒になりつつあり、昔に戻りつつあります。

それと「池之原会館」というのは何ですか。

事務局

茶室のことです。

委員長

商業は自然発生、自然消滅で、混住していることを否定することはできませんので、混在しながら商店に生き延びてもらうことが大切ではないかと思います。

委員

人口の集積に当たって、昔は農業集落でも集積していてコミュニティもきちんとしていました。現状では、若い人が出て行ってしまいます。

それと、昔の住居は意外と長持ちしましたが、戦後の住宅政策は、20～30年で建替えることを前提としています。長く住める住宅ができ、集積していくのであれば、自然と町の広がりができるのではないかと思います。

年を取って車に乗れなくなると、公共交通機関のあるところに住みたいと思いますが、若い人はそうは思わないです。

委員

田原の目指すコンパクトシティの方向をきちんと考えないといけないと

思います。

30 数年前に田原に始めてきましたが、その後いろいろな整備が行われるにつれて、どんどん元気がなくなっているように思います。

きれいになっても、安心感、やすらぎ、にぎわいが失われてきているように思います。

委員

交通の便が悪いことが課題になってくると思います。

コンパクトシティの発想はすばらしい考え方だとは思いますが、交通網は主幹線につながっていないと弱いと思います。豊橋にきちんとつなげることが大切だと思います。

第三者から見ると、住みやすいし、自然環境もいいので、田原は住みやすいところですが、でも幹線につながることをやっていく必要があると思います。それをしないと 7 万人の夢に終わるのではないかと思いますので、23 ページの広域的連携を言葉だけでなく具体化してほしいと思います。

委員

コンパクトシティについて、よくわかりました。

農業地域に住宅が分散していると営農にマイナス面もあり、コンパクトシティを進めることは大切だと思います。

少子・高齢化が進んでいますので、子どもやお年寄りが安心して暮らせるまちづくりが大切だと思います。

委員

コンパクトシティの考え方ですが、資料 15 ページに市街化調整区域に 2/3 の人口が住んでいますので、市街地を結ぶのではなくて、調整区域のことも考えないといけないのではないかと思います。

都市構造については、集落も含めて考えてほしいと思います。

構造図ですが、都市計画マスタープランは概ね 20 年ぐらいを考える計画で、湾口道路についてここに載せるのはどうかと思います。

三重県や静岡県との交流を進めるといような視点で書いたほうがいいのかと思いました。

個人的には、理念について特徴が出ていないという気がします。もう少し特色のあるものが出たらいいのではないかと思います。たとえば子どもに着目したり、お年寄りに着目してはどうかと思います。

委員長

最後に一言ずつお願いします。

委員

都市を魅力的にして強くするためにはスプロールを防ぐことが重要です。ただし、今あるものをまとめるというようなことは誤解を生むと思います。

人口 7 万人というのは変えられないとしても、住宅開発や都市開発をどうしていくのか、世帯や住宅をどう配置するのかを明確にする必要があると思います。

人口が増えなくてもスプロールは進みます。空家率が高いので、空き家をどう活用するのも考えてほしいと思います。

田原らしさを考えると、環境や農業、特に、農業のことをきちんと打ち出すことはできないかと思います。

また、福江には港や海の魅力があると思います。そのためには、都市だけではなくて、自然や農業との結びつき方を考えると地域の魅力が出てくるのではないかと思います。

アーバンビレッジという考え方がありますが、こういう考え方をもう少し入れていくのが大事かと思います。そのためには、田原駅前の密度を高めていくことが大切ではないでしょうか。

委員 サブ拠点としてどこを位置づけるのかなど、階層的に計画してほしいと思いました。

27 ページのところでも、市としてどうしたいのかを示すことが大切ではないかと思います。

それと、子育て支援についての記述が薄いと思います。職住の近接は、大切なことなので、工場の近くでの住宅整備なども大切です。

そして、拠点同士を結ぶ交通も大切だと思います。

委員 市内に 20 校区ありますが、校区ごとにまちづくり推進計画がつくられています。大切なのは、基本は人づくりであり、ボランティア精神であると思います。

委員 渥美と田原を結ぶ道路を如何に早くするかが大切であると思います。

渥美線は、以前、スピードアップの実験をしたことがあります。そのときはうまくいきませんでした。今度はホームが増えますのでスピードアップも可能になるのではないかと思います。

委員 活力ある地域づくりのためには、近隣都市との連携が欠かせないので、うまくつなげていくことが大切だと思います。

委員 今日は大変勉強になりました。

委員 若者の住みやすい町にしていくことは大切だと感じました。

委員 公共施設、特に保育園や市民館を維持していくことが重要で、これらを中心に集落が形成されていると思われるので、これをセンターとして位置づけることができるのではないかと思います。

委員長 本日は、田原らしいコンパクトシティのあり方についてご意見を頂いたと思います。

7 ページの図については、農業集落という表現の仕方が必要かもしれません。わかりやすい図ですので、工夫していただきたいと思います。

人口 7 万人という点についてですが、企業立地に関わる人口増は田原地域が中心だと思いますが、これはこのように書くしかないと思います。

一般的な人口の増加は、農業の振興と子育てのしやすい地域づくりという面から考える必要があるのではないかと思います。

全般的には、非常にまじめによくやってあると思います。

- 市の方にもご意見をお伺いしたいと思います。
- 事務局 皆さんのご意見を参考にして、これからさらに検討を進めていきたいと思  
います。
- 事務局 図1についてですが、ここにいたるまでいろいろな経緯がありました  
が、さらに検討したいと思います。
- 委員長 農村集落のイメージが明確でないことが問題で、そこをはっきりさせ  
ればわかりやすいのではないかと思います。
- 委員 断面図で示すのはごまかしですが、平面図で示すと計画図のよう  
に見られ誤解が生じるので、書き方が難しいと思います。
- 事務局 コンパクトシティを目指していくということについての基本方針につ  
いてご検討を頂き、細部を除けばご理解が得られましたので、今後さら  
に具体化をしていきたいと思  
います。
- 現在のフレームは、臨海部に企業が立地し、従業者が市内に定住するこ  
とや出生率の向上を前提にしています。また、このフレームを実現して  
いく上での土地利用面からの検証を本日お示ししましたが、出生率2.07は  
高すぎる数字ではありますが、総合計画のフレームとして尊重していき  
たいと思  
います。
- 委員 スウェーデンでは、25年間で出生率がもっと改善していますから、不  
可能ではないと思  
います。
- 事務局 子育て支援など、今後さらに重要になってくるものと考えています。
- 委員 新住宅エリアというのはどういう意味ですか。
- 事務局 浦片の土地区画整理事業、大久保の住宅団地、赤羽根の土地区画整  
理事業です。
- 委員 大久保の住宅が少し気になります。どこまで進んでいるのですか。  
大胆にやめて、初めて本気ということになると思  
います。
- 事務局 事業の進捗状況としては、既に粗造成の段階です。  
地域で長い時間をかけて検討を進めてきたものでありますので、事業  
を中断するのは難しいと思  
います。
- 委員長 「5.その他」について事務局から報告があればしてください。
- 事務局 (会議メモについて、説明)  
次回は「都市整備の方針」をテーマとし、3月中に開催したいと考  
えています。
- 委員 259号旧道から大久保の計画地までは市街地としてつながっていると考  
えたほうがよいのではないかと  
思  
います。
- 委員長 最後に都市整備部長のご意見をいただきたいと思  
います。
- 都市整備部長 本日はありがとうございました。  
田原市としては、コンパクトシティという言葉ができる前、都市計画に  
取り組んだときから、考え方として意識してまいりました。各施設の位置

づけもそういう考え方でやってまいりました。

また、臨海部に 1,000ha の工業団地があり、従業員が定住できる核都市づくりを目指してきました。昭和 48～49 年にトヨタ自動車誘致に成功したころには、人口 5 万人を目標にしていました。

具体的には、核となる市街化区域の周辺で土地区画整理事業を実施し、ここを受け皿としていくという考え方ができましたが、ここでの宅地開発が遅々として進みませんでした。一方で、市街化調整区域では人口が減少しておりましたので、地域コミュニティ維持と企業従業員の受け皿を兼ねた宅地開発を各地区で 5～10ha の規模で点々行ってまいりました。調整区域の人口が多いのはこうした経緯も一因と考えられます。

しかし、人口減少時代に入り、今後はこのような事業は従前の手法のままでは困難なものと考えておりますが、大久保地区の事業は既に 10 数年前に検討が始められそのまま残っていたもので、実現していかなければならないもので、これが最後のものだと思います。

コンパクトシティの絵についてですが、既に集落性がなくなったところもあります。ただ全般には、集落がなくなるころまではいかず、密度が下がっていくと考えられ、うまく表現しなければいけないと思います。

中心市街地では、東京オリンピックのころからみると人口密度が半分になっています。空き家は多いですが、ほとんどが廃屋に近い状態です。今後は街の中を埋めていかななくてはならないと考えています。

交通の問題については、交通政策も含めて検討をしていきたいと思えます。また、伊勢湾口道路については、50 年来の渥美半島全体の強い願いであり、調査もずいぶん進んでいますが、なかなか前に進んでいない状況です。渡辺崋山先生は、「大功は緩にあり、機会は急にあり」といわれており、大きな仕事はゆっくりしたものだが、機会は急にやってくると教えており、整備はいつになるかわかりませんが、本市の長期的な夢でありますので計画に盛り込んでいきたいと思えます。

今回は、都市整備の方針ということでご検討いただきますのでよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

委員長

以上をもって閉会といたします。

		委員長				
海道委員				遠藤委員		
寺本委員				平野委員		
木村委員				中神委員		
富田委員				森部委員		
本多委員						
		街づくり推進課長	都市整備部長	事務局		

(席次表)



(会議の様子)